

2023年度 ニチイキッズ楽山保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	各自の自己評価をもとに施設としての課題や改善策について検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念『おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ』の基、子どもたちが“わくわくすること”を意識し、心が動く保育を行った。クラス間でのミーティングも定期的に行い子どもたちの発達に関して共通認識をもって保育を行うことができた。
子どもの発達援助	毎週行うクラスミーティングに加え、毎月全職員で全園児の発達状況の共有を図っていった。共通認識を持つことで関わりの課題なども明確になり子どもたちの発達に添った支援ができた。
保護者に対する支援	日々の保育やコミュニケーションを通して保護者との信頼構築に努め、困り感に寄り添いながら支援に努めた。また、今年度より子どもの安全に関するおたよりを作成し、身近にある危険についても知らせていった。
保育を支える組織的基盤	年間計画に沿って園内研修を行い保育の質の向上を目指した。外部研修では、常勤・非常勤共に研修を受講することができた。次年度も全職員が研修を受講できる体制を整え、年間で取り組む課題をもち園内研修を行っていききたい。

総評
今年度より保育所等での安全計画が策定義務化され、安全への取り組みを強化していった。おたより等で安全に関する園の取り組みや子どもたちの身の回りに関する危険に関して発信を行ったが、伝え方について課題が残る。次年度も安全面に十分配慮しながら保育を行っていききたい。また、子どもたちが安心して過ごすことができる園である為に、職員の関わり方等も研修を通して学び保育の質の向上が今後の課題である。